

法人（事業所）理念		「家族が仲良く笑顔で暮らせること」をビジョンとし、在宅で暮らす重度心身障害児とご家族が、地域社会で安心して過ごせるようご利用者様と家族の抱える様々な問題を、共に解決していく姿勢を大切にしています。		
支援方針		重度心身障害児の専門施設です。特に医療的ケア児の支援に特化しています。医療的ケア（看護師）、訓練（PT）、療育（保育士・児童指導員）、介護（入浴など）をワンストップで行い、ご利用者様とご家族の負担を軽減するよう努めます。 小規模多機能施設の利点を活かし、きめ細やかでニーズに合わせた療育環境を提供致します。		
営業時間		9:00 ~ 18:00 （支援時間：平日は学校終了後） 土曜日は10:00～開始	送迎実施の有無	あり 周南・下松・光 地区
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	人工呼吸時をはじめ、気管切開・胃瘻など高度な医療的ケアにも対応できるよう、トレーニングを積んだ看護師がきめ細やかなケアを行います。体調が急に変わりやすい方も、安心して利用していただけるよう、酸素ボンベ・在宅用酸素機器・吸引器・AEDなど医療機器を準備しており、万が一に備え、消防（PA連携出動）や医療機器メーカーとも連携しています。また保育士や児童指導員も医療的ケア（吸引・注入）を行える資格を持っているため、活動中も迅速に対応が可能です。		
	運動・感覚	理学療法士がストレッチや可動域訓練を行います。また発達段階に応じて体幹を強化する訓練や座位・歩行訓練を実施しています。 保育・児童指導員は布ブランコやバランスボールなどダイナミックな遊びで感覚統合を行います。またスライムや布、草花や食べ物など、様々な感触のものに触れてみることで、皮膚からの感覚を刺激する感触遊びなど、創意工夫しながら、楽しく訓練に取り組んでいます。		
	認知・行動	シーンに合わせた音楽を活用し、メリハリをつけることで、生活リズムの形成や活動の手掛かりとして活用しています。行動障害のある方には対応の仕方をご家族と相談し、情報を共有しながら支援を行います。		
	言語コミュニケーション	障害の特性上、言語的コミュニケーションができない児が多いため、触れ合うことを中心に、非言語的コミュニケーションを大切にしています。ちょっとした仕草や反応で気持ちを表現していることが多いため、あらゆる反応を見逃さないようにします。表情や身体のわずかな動きを捉え、全身を使ってコミュニケーションを取っていきます。		
	人間関係社会性	他の児童との関わりが持てるように、時間を決めて全員で集まり、お名前呼び、季節の歌や集団での活動を行っています。制作や季節の活動を通して、順番を待つなど、ルールを守り、集団活動の中で、他者と楽しく過ごす経験をします。生活介護も併設しており、様々な年代の方と関わることも特徴です。		
家族支援		年に1回のペースで家族会を催し、ご家族同士の交流を図っています。きょうだい児も含め、ご家族とスタッフがちょっとした制作など行いながら、リラックスした雰囲気で行っています。気楽に相談ができるようSNSでの相談も可能です。きょうだい児さんの悩み・発達のご相談も承っています。地域の新しいサービスや、保険外サービスのご紹介など、生活のお困りごとに関して情報提供を行います。	移行支援	地域の学校や支援学校・市役所と連携し、就学に向けて情報共有や会議を行います。スムーズに移行ができるよう支援者の方に施設の様子を見学していただくことが可能です。
地域支援・地域連携		病院をはじめ、学校や幼稚園・他の支援施設と連携しています。	職員の質の向上	人工呼吸器など医療的ケアの研修や勉強会 アンガーマネジメント アサーション
主な行事等		おでかけ（公園・図書館・美術館など） 運動会 クリスマス会 誕生会 ハロウィン		